

令和元年第9回栗原市教育委員会定例会会議録

1. 招集日時 令和元年8月28日(水) 午後1時30分

2. 招集場所 金成庁舎201会議室

3. 出席委員

1番	笠間 八十公	委員	2番	蘇 武 徳 行	委員
3番	久 我 一 仁	委員	4番	千 葉 みどり	委員

4. 説明のため出席した者

教 育 長	佐 藤 新 一
部 長	菅 原 昭 憲
次 長	鈴 木 学
次 長	多 田 陽
教育総務課長	入 野 美奈子
学校教育課長	小野寺 幸 博
学校教育課副参事	高 橋 和 宏
社会教育課長	伊 藤 寿 浩
文化財保護課長補佐	千 葉 長 彦
教育研究センター所長	松 田 良 幸
教育研究センター副参事	菅 原 健 志

5. 本委員会の書記は次のとおりである

教育総務課長補佐	菅 原 光 宏
----------	---------

6. 出席点呼・開会

午後1時30分

佐藤教育長 本日は、教育長、教育委員の過半数が出席しておりますので、直ちに会議を開きます。

7. 教育委員会会議録の承認

佐藤教育長 それでは、3. 教育委員会会議録の承認についてでございます。事務局に内容の説明を求めます。

事務局 令和元年7月24日に開催された令和元年第8回栗原市教育委員会定例会の概要を説明。

佐藤教育長 (委員に諮って) 承認する。

8. 教育委員会会議録署名委員の指名

佐藤教育長 次に、4. 教育委員会会議録署名委員の指名を行います。1番 笠間

委員、2番 蘇武委員をお願いします。

9. 教育長報告

佐藤教育長

次に、5. 教育長報告を行います。

資料をご覧ください。前回定例会後の主な対応事業をお話しさせていただきます。

7月26日、30日、8月1日に、あきる野市・栗原市友好親善交流会ということで、結団式・出発式・解団式が行われました。また、7月28日と8月3日に、青空大使派遣事業の出発式と帰着が行われました。2つの事業とも子どもたちにとって、よりよい体験になったと聞いております。7月29日と30日には、山崎武司杯東北中学校野球交流大会があり、5校5チームが参加しました。優勝は、仙台育英学園の秀光中等教育学校で、栗原選抜は、2位に入りました。14日は、全国中学校体育大会出場壮行会を行いました。中学校7校中5校が出場し、相撲は、栗駒中学校が団体にベスト16に入りました。ホッケーは、築館中学校がベスト8に入り、栗原西中学校がベスト16に入りました。18日に、宮城ヘルシーふるさとスポーツ祭栗原地区大会がありました。今年も暑かったですが、大きな事故やけがもなく、全種目実施できました。21日に、輝く日本一くりはら大賞贈呈式が築館高等学校であり、市長から鶴澤飛羽君に贈呈されました。26日に、小・中学校空調設備稼働式を、若柳小学校の3年生の教室で行いました。26日から使用できた学校は、若柳小、宮野小、花山小、志波姫小、築館中、29日から使用できる学校は、築館小、鶯沢小、栗駒中、栗原南中、志波姫中となっております。9月後半までには、すべて稼働できる見通しです。

2 児童・生徒及び教職員の状況については、生徒指導の概況をご覧ください。不登校関係が増えてきておりますが、何とか昨年度よりは少なく抑えたいと思っております。今年からスタートした心のケアハウスを利用して、一人でも多くの児童生徒が学校へ足を向けることができると考えております。いじめ認知件数は、資料のとおりで、重大事案に至るようなものはありません。問題行動は、ご覧のとおりですが、先生方がかなり頑張っており、根気強く指導しており、授業抜け出し型でも授業を妨害しなくなっております。資料裏面に金銭トラブル、虐待の疑い、家庭内暴力を記載しております。詳細について、質問があれば、担当からご説明いたします。事故・けがはご覧のとおりとなっております。

以上ですが、何か質問がありましたら、お願いいたします。

蘇武委員

3 その他の事故で、バスと乗用車の衝突がありますが、これは、営業用のバスでしょうか。

鈴木次長

市のバスで、市が雇った運転手が起こした事故であります。状況と

しては、水泳部の生徒を乗せたバスが、国道4号を右折して築館中学校に入ろうとした際、対向車との距離感を誤り、北側から来た対向車と衝突したものです。市が被害を受けたのではなく、無理な右折をしたのではないかということで、事故処理を行っております。

笠間委員

生徒指導の概況で、虐待の疑いと判断した理由は、何だったのでしょうか。

学校教育課副参事

虐待の定義があり、子どもの前で暴言などがあると、心理的な虐待ということになります。本件は、学校から虐待の疑いということで報告があったもので、教育委員会としては、子育て支援課等と連携しながら対応しているところであります。

佐藤教育長

ほかにご質問ありませんか。

(なしの声あり)

ご質問がないようですので、教育長報告を終わります。

10. 議 事

佐藤教育長

次に、6. 議事に入ります。日程1 議案第42号 栗原市公民館の廃止について、事務局に内容の説明を求めます。

社会教育課長

それでは、1ページをお開き願います。議案第42号 栗原市公民館の廃止について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第21条第1項第1号の規定により、下記のとおり議決を求める。下記の表のとおり、公民館の設置、廃止の別につきましては、全て廃止で、廃止時期は令和2年3月31日であります。名称、位置について順に読み上げます。栗原市金田公民館、栗原市一迫字川口中野30番地、栗原市長崎公民館、栗原市一迫字上中島39番地1、栗原市姫松公民館、栗原市一迫北沢十文字62番地5、令和元年8月28日提出、栗原市教育委員会教育長であります。今回、廃止いたします3つの公民館につきましては、平成29年11月に教育委員会で承認されました1地区1公民館構想に基づき、平成31年4月に栗原市社会教育委員会議からの答申について、教育委員会で承認されました栗原市公民館整備基本構想の策定により整備を進める一迫地区の4つの公民館施設のうちの3施設であります。1地区1公民館構想は、1地区において、1つの公民館を基幹公民館として、地域の生涯学習活動の拠点として機能を拡充して継続させ、それ以外の公民館等については、地域においてコミュニティ組織の活動拠点として施設利用するか、そうでない場合は廃止、解体する方向としていくものです。一迫地区においては、今回廃止する3つの公民館については、以前より地域のそれぞれのコミュニティ組織が施設の管理業務を行っており、平成25年度から現在まで7年間、公民館施設の指定管理を受託している施設であります。今回の施設について、コミュニティ施設に移行す

ることに伴いまして、公民館として廃止するものであり、お諮りする
ものであります。以上、よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

佐藤教育長

説明が終わりました。議案について、ご質問ありませんか。

(なしの声あり)

ご質問がないようですので、原案のとおり可決してよろしいですか。

(異議なしの声あり)

ご異議なしと認め、日程1 議案第42号 栗原市公民館の廃止に
ついては、原案のとおり可決いたします。

次に、日程2 議案第43号 平成30年度教育に関する事務の管
理及び執行の状況の点検・評価結果報告について、事務局に内容の説
明を求めます。

教育総務課長

議事日程の綴り2ページをご覧ください。議案第43号 平成30
年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価結果報告に
ついて、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律
第162号)第26条第1項の規定により、別紙のとおり教育に関する
事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果報告書(平成30
年度実績)を作成し、栗原市議会へ報告することについて、議決を求め
る。令和元年8月28日提出 栗原市教育委員会教育長でございます。
内容につきまして、5ページをご覧ください。制度の概要を記載して
おります。趣旨につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関す
る法律第26条に基づき実施するものであります。作成した報告書は
市議会に提出するとともに、栗原市のウェブサイトに掲載し、市民へ
公開いたします。次に、知見の活用につきましては、法律の定めによ
り、点検・評価は教育委員会の各事業の自己評価であることから、学識
経験者の知見の活用を図ることと規定されております。例年のとおり、
宮城教育大学に依頼し、教授等2名の方から、ご意見をいただいております。
点検評価項目については、10ページをご覧ください。教育委
員会としては、各種事業を行っているところですが、主要な25項目
を選定し、自己評価を行っております。評価につきましては、A、B、
C、D、4段階の評価となっております。個票ごとの説明につきましては
は、本日は省略させていただきますが、知見者の方からのご意見は、個
票の最下段に記載しておりますので、ご覧いただきたいと思ひます。
36ページをご覧ください。知見者の総評です。学力向上に関する施
策については、数値に捉われない事業実施の要望がありました。防災
教育、いじめ・不登校対策については、多くの成果が上がっているとの
評価をいただいております。知見者の方が、課題と捉えるもの2点に
ついて、ご指摘をいただいております。1点目は、市民の学習・教育ニ
ーズとシーズ(資源)のマッチングの必要性について指摘があり、多様

化する市民ニーズの把握と、市民自らが学習者としてリーダーシップを発揮していくことを期待されております。2点目として、子供たちの学習・成長環境と、市の育成事業との兼ね合いに関する課題については、子どもたちが地域の中で学ぶことには大きな意義があるが、子どもたちの負担にならないよう事業内容を精選することで、実質的な内容の拡充を期待したいというものでありました。37ページをご覧ください。教育委員会としての今後の取り組みの方向性につきまして、点検・評価結果と知見者からの意見を踏まえて記載しております。学校教育に関しては、学力向上に関する施策としては、目標数値だけに捉われずに、事業間の連携・統合を図ることで、教員の指導力を向上させ、児童生徒の学習意欲を喚起し、学力向上を目指します。また、防災教育、いじめ・不登校に関する施策については、その成果について評価をいただいたところですが、さらに、児童生徒の教育的ニーズに応じた支援に努めてまいりますといたしました。社会教育に関しては、地域を通した子育て・教育の取り組みで、世代間交流は、地域の中で成長する子どもたちにとって重要なことであるため、地域全体で子供を育てる環境づくりを推進していきます。また、市民ニーズの把握と事業の見直しや改善に努めることで事業を活性化し、魅力的な事業となるよう努めるとともに、社会教育施設の環境整備についても推進しますと、今後の方向性についてまとめました。以上が概要となります。ご審議よろしくお願いたします。

佐藤教育長
蘇武委員

説明が終わりました。議案について、ご質問ありませんか。

学識経験者の方々の意見として、課題と要望を出していますが、要望も含めて課題なのではないでしょうか。具体的にどうすれば良いのか見えてこない。栗原市民の学習教育ニーズと資源とのマッチングの必要を指摘したいと記載されていますが、若者と年配の方の意見を具体的にどのように取るのか、他県の例などを上げながら、市に提言してもらえれば良かったと思う。広すぎて、なかなか分からない。

佐藤教育長
教育総務課長

知見者の意見を斟酌して、取り組むしかないのではないのでしょうか。

この冊子のみを見てのご意見です。教育委員会としては、記載以外の事業もしていますが、知見者は分からないため、このような表現になっているのではないかと思います。来年度、依頼する際は、意見のスタイルを具体的にオーダーしたいと思います。

鈴木次長

今回、個票に、現状値、目標値、実績、達成率の目標指数を入れております。この数値から何が読み取れて、なぜそうなったのか、今後、どうしていくのかという指摘がなされておりますので、次年度以降は、この目標指標で表れた数値の取り扱いや考え方を示して、来年度、このようなことをしていきますというところに持っていけたら良いと思います。今年度は、数値化して客観化しようというところに留まった

かと思しますので、次年度以降の宿題としたいと思います。

佐藤教育長

ほかにご質問ありませんか。

(なしの声あり)

ご質問がないようですので、原案のとおり可決してよろしいですか。

(異議なしの声あり)

ご異議なしと認め、日程2 議案第43号 平成30年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価結果報告については、原案のとおり可決いたします。

次の日程3 議案第44号 準要保護児童生徒の認定について、日程4 議案第45号 栗原市奨学生選考委員会委員の人事について、日程5 議案第46号 栗原市就学指導委員会専門委員の人事について、日程6 議案第47号 栗原市スポーツ推進委員の人事についてですが、個人情報を取り扱う案件でありますので、秘密会としてご審議いただきたいと思いますが、ご異議ございませんか。

(異議なしの声あり)

ご異議なしと認め、日程3、日程4、日程5及び日程6につきましては、秘密会とします。

佐藤教育長

ここで、秘密会の取り扱いを終了いたします。

11. その他

佐藤教育長

7. その他 に入ります。はじめに、配布資料に基づき、各課からの報告をお願いします。

学校教育課長

資料1ページをご覧ください。初めに令和元年度全国学力・学習状況調査結果(速報値)についてでございます。調査については、栗原市全小学校について、調査いたしました。これまでは、国語、算数、数学においては、A問題とB問題に分かれておりましたが、今年度からは、一つになっております。そして、中学校では英語の調査が加わっております。調査日は、平成31年4月18日、調査対象は、小学校6年生が504人、中学校3年生が478人、調査内容は、国語、算数・数学、英語、生活習慣や学習時間に関する調査であります。調査結果につきましては、栗原市と全国、県の平均正答率を記載しております。小学校の国語は、栗原市が59%、全国が64%で、全国との差がマイナス5ポイントとなっており、算数についても、マイナス5ポイントとなっております。中学校の国語は、マイナス2ポイントで乖離が小さいものの、数学、英語は、マイナス8ポイントとマイナス7ポイントで差が大きくなっております。次に2ページをご覧ください。(2)の学習時間に関する結果であります。小学校の平日に家庭で1時間以上学習する割合ですが、全国66.1%に対し、栗原市は76.9%で、10.8ポイント上回っております。昨年度は77.9%でしたので、1ポイ

ント減っております。中学校につきまして、同じく1時間以上学習する割合ですが、全国69.8%に対し、栗原市が63.2%で、6.6ポイント下回っております。昨年度は75%で、全国をかなり上回っていましたが、今年は、11.8ポイント減少しております。今後の対策として、今回の調査結果を分析して課題を明らかにします。そして、学力向上対策プロジェクト事業の学力向上研究推進協議会において、学力向上研究指定校の取組の成果や先進地派遣教員の研修成果を市内全小中学校で共有し、各学校での授業づくり、家庭学習指導、授業外の指導の工夫改善を図ってまいります。参考といたしまして、平成30年度の調査結果を掲載しております。

続きまして、令和元年度小学校英語活動「英語でチャレンジ」実施報告でございます。日時につきましては、7月30日。英語でチャレンジ1は、3・4年生が対象となっており、英語でチャレンジ2は、5・6年生が対象となっております。参加者は、英語でチャレンジ1が20人、英語でチャレンジ2が12人で、合計32人となっております。内容は、英語のカルタ取りや紙芝居等、記載のとおりとなっております。アンケート結果につきましては、全員が、楽しい、まあまあ楽しいと回答しております。来年も参加したいかについては、全員が参加したい、まあまあ参加したいとのことから、大変好評だったと思います。4ページに個別の意見を掲載しております。成果・課題につきましては、事前の周知活動に工夫が必要であると感じております。

次に、追加資料の令和元年度全国中学校体育大会についてをご覧ください。陸上の女子3年100mでは、鶴沢希妃さんが12秒58で予選敗退。女子4×100mリレーでは、築館中学校が51秒06で予選敗退でありました。剣道では、若柳中学校が0勝2敗で予選リーグ敗退。相撲は、栗駒中学校が団体の決勝トーナメントに勝ち進み、ベスト16になっております。個人総合では、鈴木大和さんが1勝2敗で予選敗退、伊藤航太さんが決勝トーナメントに進みましたが、2回戦敗退となっております。柔道は、志波姫中学校の女子が0勝2敗で予選敗退となっております。個人は、栗原西中学校の菊池さんが2回戦敗退、志波姫中学校の蜂谷さんが2回戦敗退となっております。ホッケーは、築館中学校が決勝トーナメントで栗原西中学校と対戦して、ベスト8になり、栗原西中学校がベスト16になっております。以上であります。

社会教育課長

5ページをご覧ください。令和元年度市民運動会の開催についてでございます。市内各地区において、9月1日と8日に市民運動会が開催されます。開会時間は、資料のとおりです。また、委員の皆様には、既にご案内しておりますが、8月31日(土)午後3時から、第13回青空大使派遣事業の解団式を、金成やすらぎセンターで予定しており

ますので、よろしくお願いいたします。以上でございます。

教育総務課長 6ページをご覧ください。8月から9月にかけての教育委員会主催行事を記載しておりますので、ご覧ください。そして、追加資料で市立学校空調設備設置工事について、本日現在の状況を配布しております。8月26日稼働したのが、小中学校合わせて5校64教室となっております。明日から使用できる学校が5校あり、これを合わせると、10校118教室となります。工期は、9月末までとなっており、順次稼働を進めてまいります。以上でございます。

佐藤教育長 ただいまの報告について、ご質問はありませんか。

笠間委員 英語でチャレンジの課題として、面白さを広めていくために事前の周知とありましたが、チャレンジ2の参加者には、昨年も参加した人が居るのでしょうか。

学校教育課副参事 昨年参加した人もおりますが、新規の参加者の方が多い状況です。

笠間委員 定員は、それぞれ何人でしょうか。

学校教育課副参事 40人で募集しております。

笠間委員 女子の参加者だけなのでしょうか。

学校教育課副参事 男女半々程度となっております。

久我委員 学習状況調査結果は、ホームページ等に公開するのでしょうか。

多田次長 公開しておりません。

久我委員 点検評価結果では、達成率が9割を上回っているにも関わらず、これを見るとがっかりするところもあります。今後の対策にあるとおり、分析して課題を明らかにしていくことが重要だと思います。

学校教育課副参事 個別の分野に関しての意識調査を見ると、決して悪いということではなく、それぞれ意欲的に取り組んでいる状況が見て取れます。これまで取り組んできている秋田型の学習の流れを再認識していこうということと、家庭学習、展開の流れの学び合いの場面の見通し等を再認識するということを、具体的に各学校へ提案していきたいと考えております。

久我委員 家庭学習は、中学校で下がっているものの、小学校では上がっていません。評価票の達成率が90%を超えているにも関わらず、平均正答率の数値が5ポイント以上も落ちるとするのは大きいのではないのでしょうか。

佐藤教育長 問題数が25問の場合、1問当たり4ポイントとなります。小学校で4ポイントの差がありますが、少ない科目では、16問、10問になりますので、1問の差にもなりません。

蘇武委員 調査結果は公表されるため、現場の先生は、相当なプレッシャーを感じていると思います。この結果を見てショックを受けていないのでしょうか。

教育研究センター所長 全国と比較して低いからといって、それほど現場に悲壮感というも

のではありません。現場で大事にしていたのは、日々の授業で子供たちに、理解させるかということ意識していました。築館小学校では、朝にアタックタイムを設け、普段の授業でできないドリルなどを全校一斉に取り組んでいました。教育委員会でも放課後学習会など、考える力を作る取り組みを行っております。今のところ結果には表れていませんが、学力・学習状況調査の前には、過去問を使って問題に慣れさせる取り組みを各学校で行っております。

佐藤教育長 　　ただ単に点数を取るだけの取り組みは行っていないということでもあります。

蘇武委員 　　教育委員会として、しっかり取り組んでいかなければなりません。どこが分からなかったのか、しっかりフォローしないと、子どもたちは、いつまで経っても分からない。

佐藤教育長 　　学力・学習状況調査は、指導法改善のためのものであります。点数だけを上げることが目的ではありません。

教育研究センター副参事 　　今は分かりませんが、数年前、県教委は、5ポイントまでは、統計学上、有意差が無いと言っておりました。

笠間委員 　　青空大使派遣事業のホームステイが、ファームステイになったと聞きましたが、いつ変更したのでしょうか。

社会教育課長 　　旅行者との調整不足で変わってしまったものです。

笠間委員 　　金額は変わらなかったのでしょうか。

社会教育課長 　　受け入れ人数で変わることがあります。1家庭当たりの受け入れ人数が、仕様書の中で整合性が取れておらず、思っていたところに達していなかったものであります。

久我委員 　　今回、私も行かせていただきましたので、反省すべき点など、話す機会を設けていただきたいと思います。

社会教育課長 　　来年度は、オリンピックイヤーということもあります。すぐに準備が始まりますので、よろしく申し上げます。

佐藤教育長 　　ほかにご質問ありませんか。

(なしの声あり)

ご質問がないようですので、これで各課報告を終わります。

その他にあればお願いします。

(なしの声あり)

無いようですので、7. その他 を終わります。

12. 次回教育委員会の開催日程

佐藤教育長 　　次回、教育委員会の日程について お諮りします。

9月は、26日でいかがでしょうか。時間は、午前9時30分からとしては、いかがですか。

(異議なしの声あり)

それでは、次回定例会は 9月26日(木) 午前9時30分からの開催とさせていただきます。

13. 閉会

佐藤教育長

以上で本日の日程すべてを終了しましたので、会議を閉じます。

午後2時57分

14. 本委員会の議決の次第は次のとおりである。

議案第42号 栗原市公民館の廃止について

議案第43号 平成30年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価結果報告について

議案第44号 準要保護児童生徒の認定について

議案第45号 栗原市奨学生選考委員会委員の人事について

議案第46号 栗原市就学指導委員会専門委員の人事について

議案第47号 栗原市スポーツ推進委員の人事について

この会議録は書記が作成したものであるが、その内容の正確なることを証するためここに署名する。

令和元年9月26日

会議録署名委員 _____

〃 _____